

補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	佐倉市伝統的工芸品産業保存育成事業補助金
---------	----------------------

予算科目	一般会計	款	6	項	1	目	2
予算事業名	伝統産業保存育成事業						
実施計画の位置づけ	中小企業の経営安定を図ります。						

補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接・国県補助なし						千円
交付先	伝統工芸品作成者						
支出根拠規定	佐倉市伝統的工芸品産業保存育成事業補助金交付要綱						

補助の目的	伝統的工芸品産業の普及及び後継者の育成
補助の効果	伝統的工芸品産業の振興
補助対象事業の 具体的内容	伝統的工芸品を製造する者が、伝統的工芸品の製作技術・技法を保存するための器材等の維持管理、後継者の育成及び伝統的工芸品の普及を図ることを目的として実施する事業
対象経費及び補助率	材料費・器具等修繕費・教材費のうち2分の1以内で15万円を限度。
補助金額の根拠	材料費・器具等修繕費・教材費(30万円の2分の1)
備考 1/2を超えて補助、設 立5年を超えて運営費 補助する理由 その他	
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課	
補助金等の名称		佐倉市伝統的工芸品産業保存育成事業補助金		
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	150	伝統的工芸品1件の技術の維持と後継者の育成	0	なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	事業の対象者は1件だが、本年度は事業上の都合により申請がなかった。今後は、事業の状況や本人の希望を確認しながら実施することになる。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	150	伝統的工芸品1件の技術の維持と後継者の育成	0	なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	事業の対象者は1件だが、本年度は事業上の都合により申請がなかった。今後は、事業の状況や本人の希望を確認しながら実施することになる。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	0	伝統的工芸品1件の技術の維持と後継者の育成	0	なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	事業の対象者は1件だが、本年度は事業上の都合により申請がなかった。今後は、事業の状況や本人の希望を確認しながら実施することになる。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	0	伝統的工芸品1件の技術の維持と後継者の育成	0	なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	事業の対象者は1件だが、本年度は事業上の都合により申請がなかった。今後は、事業の状況や本人の希望を確認しながら実施することになる。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	0	伝統的工芸品1件の技術の維持と後継者の育成	0	なし
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	事業の対象者は1件だが、本年度は事業上の都合により申請がなかった。今後は、事業の状況や本人の希望を確認しながら実施することになる。			
計画期間終了後の最終的な目標値	伝統的工芸品産業の普及活動により1件の技術を継承する。			
計画期間終了後の最終的な成果値	対象者は1件あるが、伝統的工芸品産業の普及活動支援は行うことができなかった。			